

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	ウェブブラウジング事業			基本計画	節	6	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	4		施策の方向	
課係名	総務課総務情報係	内線			施策	2		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	2		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	市民ニーズが多様化し、電話等において的確な市民対応をするためには、職員が自席で即座にインターネットを参照することができる環境が必要であるが、セキュリティ強化のためのネットワーク分離により、職員は自席のLGWAN端末(PC)でインターネットを閲覧することができないのが実情である。令和4年2月に行った職員意識調査では、約2/3の職員が自席でインターネットを閲覧できる環境を望んでいる。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	職員のインターネット閲覧環境を整え、情報収集能力の向上とよき確な市民対応を図る。
実現するための課題(問題点)	職員のインターネット端末使用のルール策定
具体的な取組(解決策)	これまでのノート型PCの配備に替えて、デスクトップ型PCを配備するとともに、新たにインターネット接続専用PC(本体のみ)と切替器を設置することにより、LGWAN端末(PC)による業務遂行とインターネット閲覧環境の両立を図る。

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			5年度	6年度	7年度
■ 活動指標	①	インターネット閲覧環境	端末の配備数(延べ台数)	100	100	350
	②					
■ 成果指標		職員の情報収集能力の向上とよき確な市民対応	意識調査において業務が効率化されたと回答する職員の割合	15.4%	15.4%	53.8%

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②
			③	④
		補正予算要求理由		

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年:有期[ 始期 ~ 終期 ]	内容	PCリース料

事業費の積算(千円)	年度	事業費	人工数	事務スケジュール		
				年月	内容	
5年度	HDMIケーブル(1m) 2,450円×100本×1.1 PC切替器 15,800円×100台×1.1	事業費	2,008	5.8	入札	
		国県	0.06			
		市債				
		その他	454			
		一般財源	2,008			
		人工数				
	6年度		事業費		5.9	PC配備
			国県	0.06		
			市債			
			その他	454		
			一般財源	0		
			人工数			
7年度	HDMIケーブル(1m) 2,450円×250本×1.1 PC切替器 15,800円×250台×1.1	事業費	5,019	7.8	入札	
		国県	0.06			
		市債				
		その他	454			
		一般財源	5,019			
		人工数				

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境や市民ニーズと整合があるか。</li> <li>・市が事業を行うことについて妥当であるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	県内38団体においてLGWAN端末からインターネットを仮想で閲覧できる環境を整備しており、市民ニーズの多様化、業務の複雑化が進む中、的確な市民対応と適切な情報収集のため、インターネット閲覧環境を整える必要がある。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。</li> <li>・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	物理端末の複数配備とPC切替器の設置により、仮想環境の10分の1以上の低コストでインターネット閲覧環境を整備することができる。入替PCの一部を対象とすることでコストダウンを図る。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	インターネット閲覧環境の整備により職員の情報収集能力の向上が見込まれ、業務の効率化と市民対応の適切化に資することができる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助等の見通しはどの程度まであるか。</li> <li>・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	既存のノート型PCと同程度の価格で物理端末(PC本体2台、ディスプレイ、キーボード、マウス等)を調達することにより、実質的な投資額はPC切替器とHDMIケーブルのみとなる。切替器、ケーブルは他にも流用が可能となる。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	B	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	施策「情報化の推進」に資する事業であり実施は妥当である。ただし、今後の更新費用増嵩を抑えるためにも、現在の経常経費枠内よりも縮減した中で対応が可能な場合のみ実施するものとする。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。ただし、経常経費の圧迫につながらないように設置部署や設置台数を十分精査すること。
	■庁議による方針		
評価		具体的な方向性	
A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。	